



菊池巳喜男 議員
(清風会)

一括質問
方式

中学校再編後における 学校施設や跡地の活用は

問 今年4月、市内中学校8校が3校に再編され、新たなスタートとなる。再編後の学校施設や跡地利用の現状はどうなっているのか。

答 地域とともに歴史を刻んできた中学校は、コミュニティの中核として役割を果たしてきたので、地域の活性化につながる形で活用を

図るという意味合いから、ハード面の環境整備は、行政が中心となって行うべきと考えている。今後、地区懇談会を開催し、地域の同意を得られた活用策を優先し、改修工事に向けて設計等の具体的な整備に着手していく。事業内容は、行政が行うべきもの、地域との協働により組み立て

いくもの、地域が自主的に行うものがあると考えている。

釜石自動車道の 現状と課題は

問 釜石自動車道東和・宮守IC間が開通し3か月が経過したが、宮守IC付近の整備が引き続き行われている。今後、遠野ICまでの工事の加速が見込まれるが、開通に向けての進捗状況は。

答 4カ月早い開通となったが、国道107号の改良工事や市道の切り替えや住宅の出入り口等は地元と協議の上、継続工事中である。また、遠野ICまでの工事進捗状況は、事業



昨年11月に開通した宮守インターチェンジ付近

費ベースで65%となっている。高速道に接続する来年度の工事では、国道283号に接続する主要道の猿ヶ石川を越す橋梁等が整備されて行く。また、中心市街地に通じる県道のアクセスで、下組町のクランク箇所の難所があり、調査費を計上し取り組む。

問 宮守IC付近のSA的な対策、特にトイレ問題が以前からあるが、対策はどうなっているのか。

答 国土交通省と協議検討をしている。近くには、「産直ともちゃん」もあり、この施設でも活用を考えているが、24時間対応のトイレには改修工事が必要であり、速急に市としても対応を考えている段階である。しかし、この整備にあたっては、浄化槽の入れ替えや建物の増改築もあり、財源のめどが立ち次第、整備したい。

※ICとは…インターチェンジの略称。SAとは…サービスエリアの略称。